

さまざまな経験を重ねて、 専門的なキャリアを形成できる場所

デロイト トーマツ アクト株式会社

SAP事業部 デロイト コラボレーションハブ デリバリーアナリスト

M.A (2020年4月 入社)

ERP/DCH/新卒入社

※役職・内容はインタビュー当時のものになります。



Q.デロイト トーマツ アクト (DTakt) での仕事内容について教えてください。

A.入社して2年目になりますが、これまでに3つのプロジェクトを経験しました。1つ目はSAP社のシステムを導入したお客様からの問い合わせに関するサポート。2つ目はSAPのシステムへ移行する段階でのテスト。現在、携わっている3つ目は、システムの企画構想のフェーズで、現在のシステムの構造や運用体制を見直し、どう変えるべきかを検討するプロジェクトです。そのなかで、見つかる課題に関して調べたり、資料をまとめたりする業務を担当しています。どのプロジェクトもDTaktのメンバーをはじめ、デロイト トーマツ コンサルティング (DTC) やお客様とのやりとりがあり、最初のプロジェクトでは海外のデロイトのメンバーと英語でやりとりする機会も

ありました。現在は在宅勤務が中心ですが、社内の方とは毎朝のミーティングや午後の進捗状況の共有、加えて2週間、1か月ごとに開かれる面談の機会など、頻繁にコミュニケーションを取りながら、業務を進めています。同期とはコロナ禍ということもあって頻度は多くありませんが、実際に会う時には仕事のこと以外にもいろんな話ができるのが嬉しいですね。

Q.DTaktを選んだ理由を教えてください。

A.大学ではスポーツ栄養学、大学院ではスポーツ経営学を専攻していましたが、就職先では新しい分野に挑戦したいと考えていました。なかでも専門的なスキルを身につけられるIT関係を中心に、就職活動を行っていました。重視していたのは、保守運用やプログラミング、コンサルティングなどさまざまなフェーズを経験して、IT分野で長いキャリアを形成できる環境があること。私は将来的にコンサルティングをやりたいと考えていたこともあり、そうしたキャリアを形成できそうだと感じたことが、DTaktを選ぶ決め手となりました。上層部の方もフランクに接してくれるなど、面接時の雰囲気も良く、働きやすそうだったこともDTaktを選んだ理由のひとつです。



Q.DTaktで働くことの魅力はどんなところですか？

A.入社後はグループ全体の研修に加えて、DTaktでの研修も用意されていますし、プロジェクトに参加したあとも、常に相談ができる方がチームに配置されているなどサポート体制がとても充実しています。私はITやプログラミングの知識がほとんどない状態で入社しましたが、学ぶ環境が整っているおかげでそれほど不安を感じることなく、仕事に慣れることができました。DTaktは専門的な知識を持っている方と一緒に仕事ができることもあって、プロジェクトを経験するごとに成長できていると感じています。働き方に関しては、現在は在宅勤務のため通勤時間もなく、自分の時間をしっかりもてています。休日に趣味のスケートボードやギターの練習をするのが楽しみです。

Q.今後の目標を教えてください。

A.まずはさまざまなフェーズを経験して、開発やプログラミングなどの基礎知識を一通り身につけることが目標です。長期的な目標としては、SAPのなかでもファイナンス領域に特化したスキルを磨いて、仕事を任せてもらえるような人材になりたいですね。英語は得意ではないのですが、以前のプロジェクトで海外メンバーとやりとりをする機会があり、とても刺激を受けたので、語学にも挑戦していきたいです。

Q.この業界を目指す方へメッセージをお願いします。

A.ITやプログラミングなどの基礎知識があると仕事への理解も早くなりますが、私だけでなく先輩社員のなかにも、異なる分野・業界から入社して、勉強を始めた方もいます。大事なのは、周りの人に質問できる力。私は学生時代に行っていた研究の経験から、遠慮せずに人に聞くことを心がけていて、それが仕事でも役に立っています。SAPを扱うには相当な量の知識が必要です。わからないことを自分で抱えてしまうのではなく、周りの人に協力してもらいながら、どんなことにも興味を持って探求していける方がこの仕事に向いていると思います。

